タイ旅行が当たる！

長政まつり大抽選会（11:30～）

9月26日より浅間通り商店街加盟店で500円以上お買い物をしていただいたお客さまに、抽選券を差し上げます。各店で配布する抽選券には限りがあります。
抽選券１枚で１回抽選ができます。（お一人様連続３回まで）
浅間通り商品券、タイフードなど、1200個の素敵な景品が当たります。特賞はタイペア旅行です。
抽選場所は、3番街 浅間通り商店街組合事務所前です。
当日浅間通りブース(3番街)でも、お買い物金額に応じて抽選券を配布します。
景品がなくなり次第終了となりますのでお早目にお越し下さい。

タイ旅行争奪じゃんけん（16:00～）

抽選会にて、５名様にタイ旅行獲得権利が当たります。
タイ旅行獲得権利を得た方は、タイペア旅行を懸けてじゃんけん大会を中央ステージにて行います。
※2020年3月末日まで(年末年始を除く)にタイ旅行が可能な方に限らせて頂きます。

※タイ旅行に行きたい方必読！

長政抽選券（3店舗以上）を５枚集めると、先着30名様までこのじゃんけん大会の参加権と交換できます。
交換は11:30～長政まつり大抽選会場にて行ないます。

長政まつりMC

SBS ラジオ

聴くディラン

OA ／月～金 14：00 ～

二村豊人
（木・金パーソナリティ）

&

テキトーナイト Tekito Night

OA ／土 20：00 ～

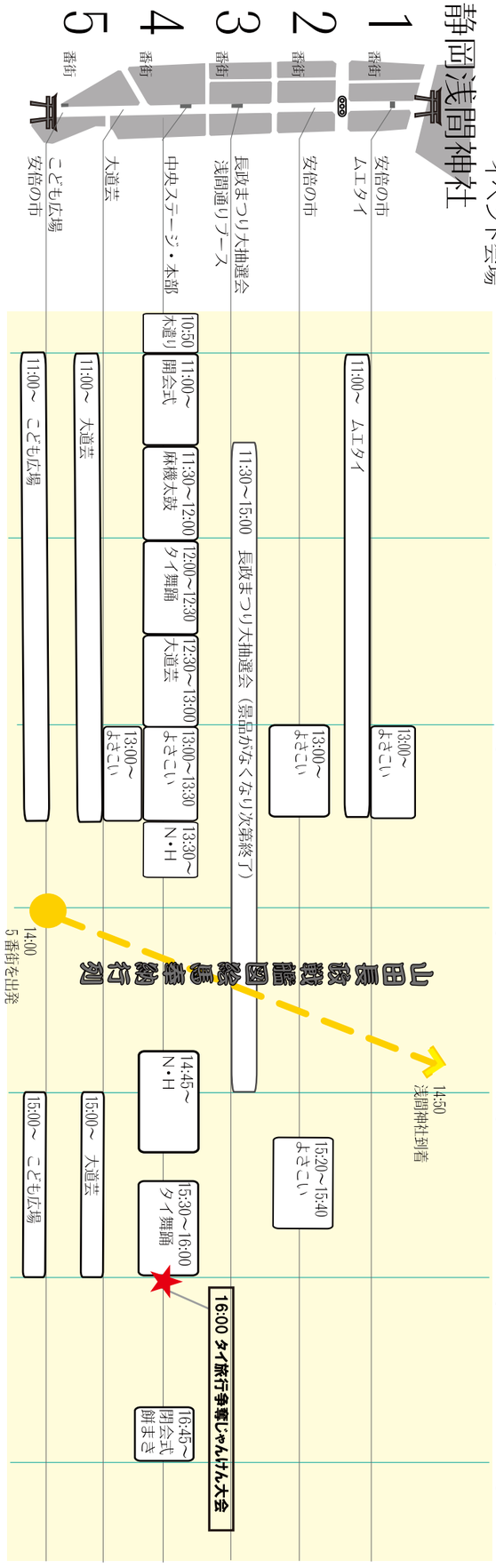
鬼頭里枝

日・タイ友好
長政まつりに
2人が一緒に登場！

SBS ラジオグッズ
プレゼントもお楽しみに !!

第34回 日・タイ友好 長政まつり 主なイベントスケジュール

イベント会場



※諸事情によりスケジュールは変更になることがあります。
※内容や場所について、くわしくはパンフレット内側をご覧ください！

長政まつりへようこそ！

《 山田長政略伝 》

山田仁左衛門長政は、16世紀末に駿府の馬場町で生まれた。父は紺屋を営む津国屋、母は藁科村の寺尾某の娘であった。
長政の青年期は徳川家康が駿府城で大御所政治を行っている時代と重なる。その頃、日本はまだ世界に向かって開かれていた。長政は駿府の商人たちが手配した船でシャム（＝タイ）へ渡る。首都アユタヤは、東西各国の貿易商・仲買人たちが入り乱れてしのぎをけずる国際商業都市だった。
ここで長政は日本人町のリーダーとなり、商人の才覚と「指揮官」の頭角をあらわす。長政は日タイの貿易はもちろん近隣諸国にも商船を盛んに送り、ヨーロッパの巨大海運交易企業を相手にした熾烈な経済戦争に勝ち続けた。またアユタヤ国王の護衛兵としても活躍し、日本人義勇兵を率いて王朝の外敵と戦った長政は、数々の武勲をうちたてた。
長政の功績を高く評価する国王は、長政に王室内での正規の官職を与え、やがて長政はオークヤー・セーナピモックという最上位の官位まで登りつめる。長政は異国での立身出世を喜び、故郷の（静岡）浅間神社に「戦艦図絵馬」を奉納した。長政まつりで行われる「絵馬奉納行列」はこの故事にちなんでいる。
その後、長政は、内乱状態にあったタイ南部地域リゴール（現ナコン・シータマラート）の鎮圧を命ぜられる。リゴールはタイ仏教の聖地である。五百名の日本人部隊と共にリゴールに赴いた長政は、一週間の激戦の末にリゴールを平定し、彼の地の統治者（六昆王）に任ぜられた。ナコン・シータマラートでは山田長政の名は、仏教を異教徒から護った守護者として今も語りつがれている。

※『夢門前歴史帖～山田長政編～』協賛店舗と事務所にて販売中

「日・タイ友好　長政まつり」について

1986年、静岡の若者有志によるささやかな「まつり」が浅間通りで行われました。徳川家康が駿府城に在城していた頃にタイへ渡り、波乱の生涯を送った山田仁左衛門長政がこの浅間通りの出身であることにちなみ、イベントは「長政まつり」と命名されました。これが「第１回長政まつり」です。
その後、浅間通り商店街に引き継がれた「長政まつり」は、山田長政を記念顕彰するのみならず、日本とタイの交流の架け橋となった長政にならい、日タイの親睦を推進する「日・タイ友好」事業として、タイフードやタイ舞踊など、タイ文化の魅力を紹介してきました。
2000年には商店街の新アーケードの完成と共に、念願であった山田長政公像の建立が実現しました。これを契機に山田長政を学問的に研究する会が地元に発足し、長政まつりは一過性のイベントから、地域独自の歴史文化や伝統を再発見する「学びの場」ともなりました。
2005年からは在京タイ王国大使館・タイ国政府観光庁の大々的な支援を受けて、「日・タイ友好　長政まつり」は地方都市の一商店街としては類例のない国際的なイベントへとますます発展・進化しているところです。

戦艦図絵馬奉納行列

山田長政は寛永三年(1626)に『戦艦図絵馬』と呼ばれる絵額を静岡浅間神社に奉納しました。絵馬に描かれているのは船首に二門、舷側に八門の大砲を備えた帆船で、船上に武装した甲冑の武士群が乗り組んでいることから、この船は「軍船」と考えられてきました。絵の上には《奉掛御立願／諸願成就／令満之所／當国生／今天竺暹羅国住居／寛永三丙寅年二月吉日／山田仁左衛門尉長政》と七行の墨書があります。山田長政の出生地については伊勢、尾張、駿府と諸説あるのですが、最も有力とされているのが駿府出生説です。その根拠となっているのが、『戦艦図絵馬』の文章の４行目《當国生》という記述です。
山田長政の戦艦図絵馬奉納の故事にちなんで、「長政まつり」では毎年、中町の赤鳥居から静岡浅間神社まで象に乗った長政公を中心にしてパレードする「戦艦図絵馬奉納行列」を行っています。

●戦艦図絵馬奉納行列
　14：00　中町赤鳥居下　出発
　14：50　静岡浅間神社　大歳御祖神社　到着
●奉告祭（奉納の神事）
　※関係者のみ。一般の方の参列は出来ません。
　15：00　大歳御祖神社拝殿